

「中高一貫教育」の検証に関するこれまでの審議のまとめ
第 2 回県立高等学校将来構想審議会（第 3 期）への部会報告

1 検証の目的

- 高校教育改革の成果等に関する検証は、高校教育改革を着実に推進し、その実効性を確保していくために、高校教育改革の各種施策・取組の進捗状況や成果・課題について、客観的かつ専門的な見地から明らかにするとともに、その結果を中長期的な計画の立案に反映させることを目的として実施する。
- 併せて、検証のプロセスと結果を適時・的確に県民に情報提供し、高校教育改革に係る県民への説明責任を向上させていく。

2 検証の方針

(1) エビデンスに基づいた検証

実証的なデータを幅広く収集して分析し、エビデンスに基づいた検証を実施することとする。

(2) 高校教育の改善に繋げる検証

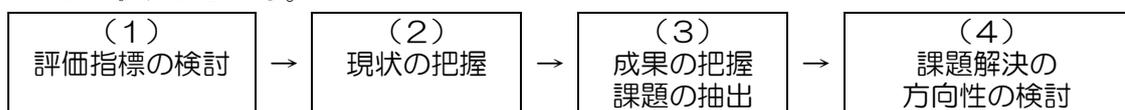
検証により課題が明らかになった場合には、教育委員会に対して実効性のある改善方策を提言する。

(3) 説明責任の確保に向けた検証

教育行政の説明責任を確保していくため、継続的かつ実効的な検証システムの構築を図り PDCA サイクルを実践していく。

3 検証の進め方（フロー図）

- (1) 検証の項目や検証データ等の評価指標を検討する。
- (2) (1) に基づきデータを収集の上、現状を把握して、定量的・定性的に検証・評価する。
- (3) 高校教育改革の取組における成果・課題を抽出する。
- (4) 抽出した課題については、解決の方向性についても検討し、教育委員会への提言として取りまとめる。



4 これまでの検証内容について

(1) 中高一貫教育の施策の概要

- 中高一貫教育の 3 つの実施形態…①中等教育学校 ②併設型 ③連携型
(別紙 1 参照)
- 宮城県の設置状況（県立）
 - ・併設型 2 校（古川黎明中学校・高等学校，仙台二華中学校・高等学校）
 - ・連携型 1 校（志津川高等学校と南三陸町立 3 中学校（志津川中学校・戸倉中学校・歌津中学校））

- 中高一貫教育校の取組（別紙2参照）

(2) 評価指標の検討（別紙3参照）

① 当初の目的と期待された成果の整理

○ 当初の目的

- ・ 学校の選択幅の拡大を図る
- ・ 6年間のゆとりある学校生活の中で、子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす
- ・ 中高通じて継続的・系統的な指導を行い、中学校と高校の教育の接続を円滑にする

出典：県立高校将来構想（平成13年3月）抜粋

○ 期待された成果

- ・ 生徒一人ひとりの個性や能力が伸び、それぞれの個性や能力に応じた進路希望を達成できている

② 検証の視点

- ・ 生徒の学校の選択幅は拡大しているか
- ・ 中高一貫教育の特色を活かした教育は展開されているか
- ・ 中高一貫教育の取組において生じた課題が適切に見出され、対応されているか

(3) 現状の把握

① 定量データの分析（別紙4参照）

主に次のデータについて、学校別に整理し、年次推移を確認するとともに、学年進行に伴う変化の特徴等について分析した。

県立中学校の出身小学校市町村別生徒数（中学校1年次）、県立中学校の出願倍率の推移、県立中学校の出願者男女比、県立中学校の生徒男女比、県立中学校卒業時の進路状況、連携中学校卒業生の志津川高校への進学率、志津川高校の連携中学校出身者割合、連携型入試出願倍率、連携型入試に係る男女比、中途退学率（高校）、不登校率（高校）、スクールカウンセラーへの相談件数（高校）、部活動の加入状況（高校）、学校評価、みやぎ学力状況調査（国数英）の結果（高校2年生）、みやぎ学力状況調査意識調査（高校1～2年生）、全国学力・学習状況調査（国数理）の結果（中学校3年生）、全国学力・学習状況調査意識調査（中学校3年生）、高校卒業後の進路の状況（高校1～3年生）等

② 定性データの分析（別紙5参照）

平成25年5月に中高一貫教育校において現地調査を実施

イ 調査方法

- ・ 校長、中学校教員及び高校教員等からヒアリング
- ・ 生徒との懇談 等

ロ 主な調査項目

学校選択の状況、指導の状況、中高生徒間の交流の状況、地域との関わり 等

- (4) 成果の把握・課題の抽出 }
(5) 課題解決の方向性 } 別紙6参照

「中高一貫教育」の概要について

1 制度導入の背景

従来の中学校・高等学校の制度に加えて、生徒や保護者が6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会をも選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指すものとして、中央教育審議会第二次答申の提言を受けて、「学校教育法等の一部を改正する法律」が平成10年6月に成立し、平成11年4月より、中高一貫教育を選択的に導入することが可能になった。

2 中高一貫教育の実施形態

中高一貫教育については、生徒保護者のニーズに応じて、設置者が適切に対応できるよう次の3つの実施形態がある。

(1) 中等教育学校

一つの学校として中学校・高等学校にあたる、6年間の一体的な教育を行う。

公立の中等教育学校の入学者選抜については、学力検査を行わない。

(2) 併設型

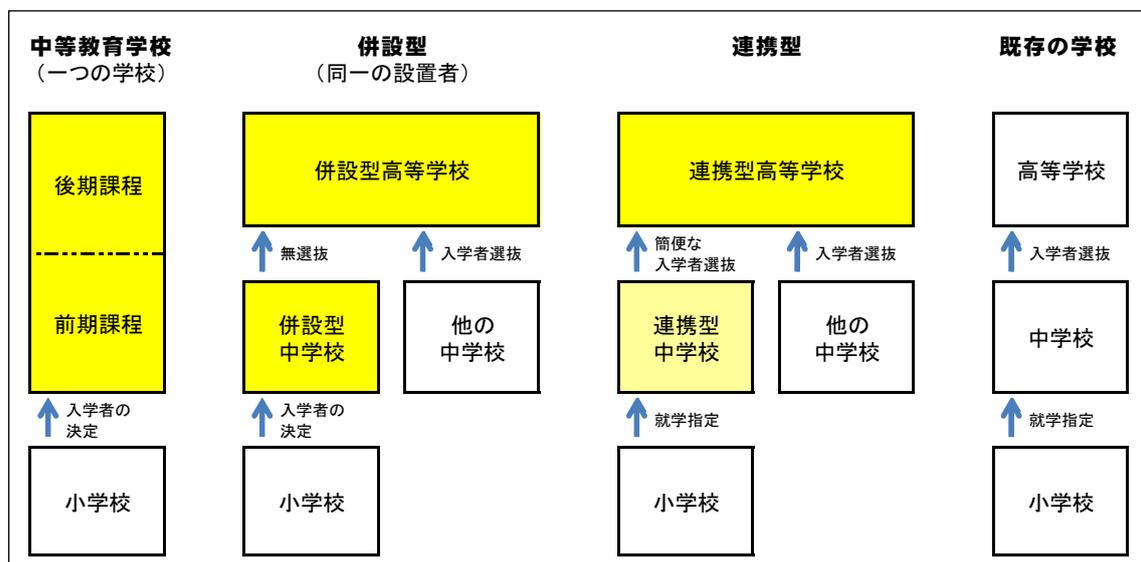
(1) よりも緩やかな形態であり、同一設置者が中学校と高等学校を併設し、接続した教育を行う。

公立の併設型中学校の入学者選抜については、学力検査を行わない。また、併設型高等学校においては、当該高等学校に係る併設型中学校の生徒については入学者選抜を行わない。

(3) 連携型

設置者が異なる場合であっても実施することができるように(2)よりも更にゆるやかな形態で、中学校と高等学校が、教育の課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を実施する。

連携型高等学校における入学者選抜は、設置者間の協議に基づき、連携型中学校の生徒については、調査書及び学力検査の成績以外の資料により行うことができる。



3 教育課程の特例

現行制度において、中高一貫教育校においては、以下の教育課程の特例が設けられている。

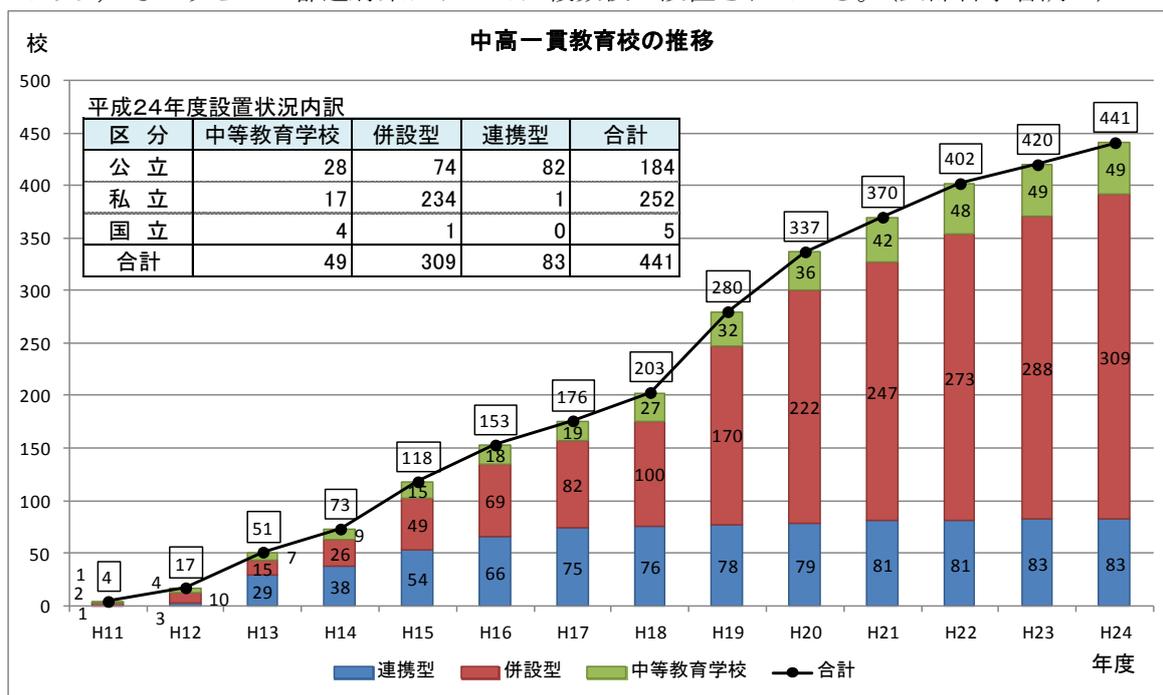
		一般の中学校・高等学校	中等教育学校・併設型	連携型
中学校段階	選択教科による必修教科の代替	/	必修教科の授業時数を、年間70単位時間の範囲内で減じ、当該必修教科の内容を代替することができる内容の選択教科の授業時数に充てることができる。	
	各選択教科の授業時数(※1)		特に必要がある場合は、左の時間を超過して各学校で定めることができる。	
	指導内容の移行		①中学校段階内における指導内容の一部移行(H24年度～) 中学校段階で特定の学年において指導することとされているものの一部を他の学年に移行し、当該特定の学年で再度履修しないことが可能。 ②中学校と高等学校との指導内容の入れ替え 前期課程(中学校)と後期課程(高等学校)の指導内容の一部を相互に入れ替えが可能。 ③中学校から高等学校への指導内容の移行 前期課程(中学校)の指導内容の一部を後期課程(高等学校)へ移行することが可能。 ④高等学校から中学校への指導内容の移行 後期課程(高等学校)の指導内容の一部を前期課程(中学校)へ移行することが可能。 この場合、後期課程(高等学校)で再履修しないことが可能。	
高等学校段階	普通科における単位数	普通科における「学校設定科目」・「学校選定教科」について卒業に必要な修得単位数に含めることのできる単位数の上限	20単位まで	36単位まで(※2)

※1 平成24年度からの新学習指導要領の実施により、選択教科の授業時数の定めがなくなることに伴い廃止された。

※2 平成23年度までは30単位まで。

4 全国の中高一貫教育の現状

中高一貫教育が導入可能となった平成11年に4校設置され、平成24年4月現在では全国で441校設置されている。公立の中高一貫教育校が設置されている都道府県は45都道府県であり、そのうち41都道府県においては複数校が設置されている。(文部科学省調べ)



5 宮城県における中高一貫教育の状況

(1) 県内の設置校数内訳

区分	中等教育学校	併設型	連携型	合計
公立	1	2	1	4
私立	1	7	0	8
国立	0	0	0	0
合計	2	9	1	12

(2) 設置状況

① 公立

実施形態	設置者	学校名	設置場所	設置年度	課程・学科	H25中学校定員
連携型	南三陸町	志津川中学校 戸倉中学校 歌津中学校	南三陸町	H15	全日制 普通科 情報ビジネス科	—
	宮城県	志津川高等学校				
併設型	宮城県	古川黎明中学校	大崎市	H17	全日制 普通科	105
		古川黎明高等学校				
併設型	宮城県	仙台二華中学校	仙台市	H22	全日制 普通科	105
		仙台二華高等学校				
中等教育学校	仙台市	仙台青陵中等教育学校	仙台市	H21	全日制 普通科	140

② 私立

実施形態	設置者	学校名	設置場所	設置年度	課程・学科	H25中学校定員
中等教育学校	学校法人 仙台育英学園	秀光中等教育学校	多賀城市	H15	全日制 普通科	120
併設型	学校法人 古川学園	古川学園中学校	大崎市	H20	全日制 普通科	80
		古川学園高等学校				
併設型	学校法人 宮城学院	宮城学院中学校	仙台市	H21	全日制 普通科	160 (女子のみ)
		宮城学院高等学校				
併設型	学校法人 聖ウルスラ学院	聖ウルスラ学院英智 中学校	仙台市	H21	全日制 普通科	70
		聖ウルスラ学院英智 高等学校				
併設型	学校法人 聖ドミニコ学院	聖ドミニコ学院中学校	仙台市	H21	全日制 普通科	30 (女子のみ)
		聖ドミニコ学院高等学校				
併設型	学校法人 白百合学園	仙台白百合学園中学校	仙台市	H22	全日制 普通科	160 (女子のみ)
		仙台白百合学園高等学校				
併設型	学校法人 尚綱学院	尚綱学院中学校	仙台市	H22	全日制 普通科	30
		尚綱学院高等学校				
併設型	学校法人 東北学院	東北学院中学校	仙台市	H22	全日制 普通科	180 (男子のみ)
		東北学院高等学校				

6 県立中高一貫教育校の設置状況

- ①連携型 志津川高等学校及び南三陸町立志津川中学校，戸倉中学校，歌津中学校
(平成15年度～)
- ②併設型 古川黎明中学校・高等学校 (平成17年度～)
- ③併設型 仙台二華中学校・高等学校 (平成22年度～)

【 経 過 】

年 月	経 過
平成9年3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みやぎ新時代教育ビジョン」策定 今後の学校教育を先導する主要なプロジェクトの一つとして，中高一貫・連携教育システム推進事業が盛り込まれる。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「宮城県中高一貫・連携教育構想検討委員会」設置 本県中等教育の一層の充実を目指し，中学校と高等学校が緊密に連携・共同するシステムを構築し，ゆとりと個に応じた教育を推進するために検討委員会を設置。
平成10年1月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「宮城県中高一貫・連携教育基本構想検討報告書」 本県における中高連携教育や中高一貫教育校の理念や教育内容等の在り方について報告。 ○ 文部省「中高一貫教育の推進に係る実践研究事業」の指定 ・志津川地域（志津川中，志津川高校） ・川崎地域（川崎中，富岡中，柴田農林高校川崎校） ○ 県「中高連携教育実践研究事業」の指定 ・岩出山地域（岩出山中，岩出山高校） ・栗駒地域（栗駒中，岩ヶ崎高校）
平成12年1月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「宮城県ではこのような中高一貫教育をめざします」パンフレット発行 中高一貫教育の目指す教育や気を付ける点などの「基本的な考え方」を示し，県民に御意見をいただきながら，中高一貫教育について具体的なあり方を検討
平成13年3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「県立高校将来構想」の策定 生徒の多様化，中学校卒業生数の減少など，本県の高校教育の抱える課題に対応し，魅力ある学校づくりを推進するための施策の一つとして中高一貫教育及び中高連携教育の推進を盛り込む
平成14年4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「志津川・歌津（現南三陸町）連携型中高一貫教育」の試行
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古川女子校を「併設型中高一貫教育実践教育校」に指定
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 志津川・歌津町教育委員会と県教育委員会との間で協定を締結
平成15年1月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古川女子校への「併設型中高一貫教育校」設置の発表
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「志津川・歌津（現南三陸町）地域連携型中高一貫教育」本格実施 (志津川中，戸倉中，歌津中，入谷中と志津川高校)
平成16年4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 併設型中高一貫教育校の開設準備担当を古川女子校に設置

平成 17 年 1 月	○ 古川黎明中学校入学者選抜（適性検査）の実施
	○ 連携型入試の導入・実施〔面接（口頭試問含む）・作文・調査書〕
4 月	○ 併設型中高一貫教育校「宮城県古川黎明中学校・高等学校」開校
10 月	○ 第二女子高校の併設型中高一貫教育校への移行を発表
平成 19 年	○ 「中高一貫教育連絡調整会議」設置，運営
平成 21 年 4 月	○ 連携型中高一貫校において，入谷中の閉校により，3 中学校と志津川高校の連携教育となる。
	○ 第二女子高校に開設準備組織設置
平成 22 年 3 月	○ 「新県立高校将来構想」策定 連携型の高校入試の在り方や学習意欲の喚起等のほか，現設置校における成果を検証することを盛り込む。
平成 22 年 4 月	○ 併設型中高一貫教育校「宮城県仙台二華中学校・高等学校」開校
12 月	○ 連携型入試について，平成 24 年度入試では当該校作成の適性検査の実施と，平成 25 年度入試では前期選抜に準じる学力検査を実施する方針を決定
	【H24 適性検査及び H25 学力検査導入の理由】 基礎的な学力を身につけさせて連携高校に進学させたいという地域・連携中学校及び高校からの要望と，平成 25 年度の新入試制度へ移行する入試改善全体の方向性を踏まえて，前期選抜に準じて 3 教科の学力検査を選抜資料に加えることとする。
平成 24 年 1 月	○ 連携型入試で調査書，面接のほか，当該校作成の適性検査を実施
6 月	○ 平成 25 年度県立中学校入学者選抜から仙台二華中及び古川黎明中の募集定員拡大の決定（80 名→105 名）
	【県立中学校の募集定員拡大のねらい】 ・ 併設中学校において，定員を拡大し中学校の規模を大きくすることで，一人一人の生徒が多くの子とふれあう機会を増やし中学校としての活力を高める ・ 高等学校において，内進生の割合を多くすることで，内進生と外進生が互いに切磋琢磨できる環境を整え，併設型中高一貫教育校の特色・魅力をより引き出す ・ 中高一貫教育を選択できる機会を拡大し，県民の高いニーズに応える
平成 25 年 2 月	○ 連携型入試で調査書，面接のほか，学力検査（前期選抜の学力検査問題を用いる）を実施

※ 内進生・外進生

「内進生」とは，併設型中高一貫校において，併設の中学校から高校への進学する者を指し，「外進生」とは併設の中学以外から高校入試を受けて入学する者を指す。

参 考 資 料

1 中高一貫教育に関する宮城県の施策

「みやぎ新時代教育ビジョン」(平成9年3月)

第4章 基幹プロジェクト

I 未来の学校プロジェクト

趣旨：一人一人の子どもがその多様な能力を十分伸長できるよう，教育機会や教育システムの多様化を推進する。

事業・施策	主な内容	実施主体
中高一貫・連携教育システム推進事業	■中等教育の改革を先導する中高一貫構想の推進 ■中高連携システムの整備	県教育委員会

「宮城県中高一貫・連携教育基本構想検討報告書」(平成10年1月)

【中高連携教育の理念】

・中高連携教育は，現行制度の中で中学校と高校が連携して教育活動を行うことにより，中等教育の充実を目指すものであり，本県としては下記の3つの理念に基づいた教育を進めることが望ましい。

- ①学習指導，生活指導，進路指導における継続性の確保
- ②異年齢集団での活動の拡大による，社会性の確保
- ③学校・家庭・地域の連携の推進

【中高一貫教育の理念】

・ゆとりと継続性を生かし，本県においては以下の4点の教育理念に基づいた教育を進めることが望ましい。

- ①個性に応じた教育の展開
- ②基礎・基本の習得
- ③主体的な学び手の育成
- ④豊かな人格の育成

【今後】

- ・中高連携教育については，県内各地域で実現可能な内容から速やかに具体化されることが望ましい。
- ・中高一貫教育については，本県においても導入することが望ましい。その際，新たな制度の導入であり，内容，方法等を検証，評価しながら進める必要がある。

「宮城県ではこのような中高一貫教育をめざします」パンフレット (平成 12 年 1 月)

【目指す教育】

- ・ゆとりの中で一人一人の個性に応じた教育を行います。
- ・6年間の計画的・継続的な指導により、基礎的な学力を身に付けるようにします。
- ・様々な体験や研究を行い、主体的に学ぶ力を養います。
- ・6年間にわたる年齢の子どもたちによる活動で、豊かな人間性を養います。

【気を付ける点】

- ・小学生が受験競争に巻き込まれないように、入学者を決めるのに学力試験は行いません。
- ・大学受験のための学習にかたよらず、基礎学力を身に付けることや、体験学習、課題研究を大切にします。
- ・いろいろな学習内容を用意し、生徒の様々な進路に対応するとともに、他の学校に進路変更を希望する場合は十分配慮します。
- ・6年間の学校生活の中で、いわゆる中だるみが生じないように、段階ごとに目標や課題を設けます。

「県立高校将来構想」(平成 13 年 3 月)

第2章 生徒の多様な個性や特性に対応した魅力ある高校づくりの推進

4 中高一貫教育及び中高連携教育の推進

6年間のゆとりある学校生活の中で、子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばすために中高一貫教育を導入し、県内に複数の中高一貫教育校を設置することで、学校の選択幅の拡大を図ります。

また、中高を通じて継続的・系統的な指導を行い、中学校と高校の教育の接続を円滑にするために、中高連携教育の普及を推進します。

「新県立高校将来構想」(平成 22 年 3 月)

第 4 章 社会の変化に的確に対応した学科編成・学校配置の考え方

1 学科等の在り方 (4) その他の学科・学校等 ①中高一貫教育校

中高一貫教育は、従来の中学校・高校の制度に加えて、生徒や保護者が 6 年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会をも選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を促進するものとして、平成 11 年度から導入可能となったものです。県内の公立学校においては、連携型中高一貫教育校が 1 校、併設型中高一貫校が 1 校、中等教育学校が 1 校設置されており、平成 22 年度には、さらに 1 校の併設型中高一貫校が開校する予定です。

連携型の中高一貫校では、中学校・高校の互いの教員の相互授業の実施による研修の充実や、連携した課外活動を通じた異年齢との交流が進んでいますが、連携型の高校入試の在り方や学習意欲の喚起等の点で、今後さらに検討していきます。

併設型については、中学校に入学した生徒が、まだ高校を卒業していないため、今後の成果を検証していきます。

今後の中高一貫教育校の設置の検討に当たっては、現設置校において中高一貫教育本来の趣旨に則った様々な取組を積極的に進めつつ、その成果を検証した上で見極めていきます。

2 県立中学校入学者選抜

OH17年度～H18年度

学校	募集定員	県立中学校入学者選抜実施内容				
		調査書	志願理由書	適性検査		
				テーマ作文	グループ活動	集団面接
古川黎明中学校	80	○	○	読み取ったり、聞き取ったりした課題に対して、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、表現する力をみる。	与えられた課題に対して、話し合い、協力し合いながら解決する力をみる。	志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみる。

OH19年度～H21年度

学校	募集定員	県立中学校入学者選抜実施内容				
		調査書	志願理由書	適性検査		
				総合問題	(テーマ)作文	集団面接
古川黎明中学校	80	○	○	与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力や表現する力等をみる。	与えられた課題を理解し、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、文章で表現する力をみる。	志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみる。

※H21年度テーマ作文→作文

OH22年度～H23年度

学校	募集定員	県立中学校入学者選抜実施内容				
		調査書	志願理由書	適性検査		
				総合問題	作文	集団面接
古川黎明中学校	80	○	○	与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力や表現する力等をみる。	与えられた課題について、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、文章で表現する力をみる。	志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみる。
仙台二華中学校	80					

OH24年度

学校	募集定員	県立中学校入学者選抜実施内容				
		調査書	志願理由書	適性検査		
				総合問題	作文	面接
古川黎明中学校	80	○	○	与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力や表現する力等をみる。	与えられた課題について、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、文章で表現する力をみる。	志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみる。
仙台二華中学校	80					

OH25年度

学校	募集定員	県立中学校入学者選抜実施内容				
		調査書	志願理由書	適性検査		
				総合問題	作文	面接
古川黎明中学校	105	○	○	与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力や表現する力等をみる。	与えられた課題について、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、文章で表現する力をみる。	志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみる。
仙台二華中学校	105					

■学校教育法施行規則（昭和22年5月23日文部省令第11号）■

第110条 中等教育学校の入学は、設置者の定めるところにより、校長が許可をする。

2 前項の場合において、公立の中等教育学校については、学力検査を行わないものとする。

第117条 第107条及び第110条の規定は、併設型中学校に準用する。

3 連携型入学者選抜

連携型中高一貫を行っている，南三陸町内の3中学校（志津川中，戸倉中，歌津中）を対象として実施。

○H17年度～H19年度

学科	募集定員	連携型入試の 入学者割合	連携型入試の実施内容			
			調査書	面接	作文	その他
普通科	120	80%以内	○	個人面接	作文	口頭試問
情報ビジネス科	40	60%以内				

○H20年度～平成23年度

学科	募集定員	連携型入試の 入学者割合	連携型入試の実施内容			
			調査書	面接	作文	その他
普通科	120	90%以内	○	個人面接	作文	口頭試問
情報ビジネス科	40	85%以内				

○H24年度

学科	募集定員	連携型入試の 入学者割合	連携型入試の実施内容			
			調査書	面接	作文	その他
普通科	120	90%以内	○	集団面接	—	適性検査
情報ビジネス科	40	85%以内				

○H25年度

学科	募集定員	連携型入試の 入学者割合	連携型入試の実施内容			
			調査書	学力検査	作文	面接
普通科	120	90%以内	○	国・数・英	—	集団面接
情報ビジネス科	40	85%以内				

※平成25年度に新入試制度に伴い，連携型入試は前期選抜と併せて実施し，学力検査は県共通問題を使用する。

■学校教育法施行規則（昭和22年5月23日文部省令第11号）■

第90条 高等学校の入学は、第七十八条の規定により送付された調査書その他必要な書類、選抜のための学力検査（以下この条において「学力検査」という。）の成績等を資料として行う入学者の選抜に基づいて、校長が許可する。

- 2 学力検査は、特別の事情のあるときは、行わないことができる。
- 3 調査書は、特別の事情のあるときは、入学者の選抜のための資料としないことができる。
- 4 連携型高等学校における入学者の選抜は、第75条第1項の規定により編成する教育課程に係る連携型中学校の生徒については、調査書及び学力検査の成績以外の資料により行うことができる。

中高一貫教育校の取組

資料3 (別紙2)

項目		仙台二華中学校・高等学校(併設型)	古川黎明中学校・高等学校(併設型)	南三陸地域(連携型)
教科指導	教育課程の特例の活用	・5教科(国語, 数学, 英語, 社会, 理科)について高校の学習内容を先取りして学習。ただし, 履修認定をするのは数学(数学Ⅰ:2単位)のみ。	・数学, 英語について高校の学習内容を先取りして学習。(履修認定無し)	
	中学校の授業時数【標準】週29コマ(50分/コマ)	・週35コマ(45分/コマ) (国語, 数学, 英語, 社会, 理科等の授業時数の増)	・週35コマ(45分/コマ) (国語, 数学, 英語, 社会, 理科等の授業時数の増)	・週29コマ(50分/コマ)
	高校の授業時数【標準】週30コマ(50分/コマ)	・週35コマ(45分/コマ)	・週35コマ(45分/コマ)	・週30コマ(50分/コマ)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・中高教員の乗り入れ(国語, 数学, 英語, 社会, 理科, 保健体育, 音楽) ・校内研究テーマ「学びをつなげる授業づくり」(6年間見通した教科指導の在り方) ・互見授業の実施 ・中高での公開授業研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高教員の乗り入れ(国語, 数学, 英語, 理科, 社会, 保健体育) ・中高6年間シラバスの作成 ・中高一貫ロードマップの作成 ・英語・数学2-WEEK-TEST(中3~高2) ・土曜塾(中1~高2)の実施 ・L-タイム(言偏)(中1~高1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高相互乗入れ授業の実施(英語・数学) ・中高連携シラバスの作成(英語・数学) ・つなぎ教材 ・サマーチャレンジテスト(国語, 数学, 英語)(~H22) ・チャレンジテスト(中高6年間を一つの物差しで計るテスト, 国語, 数学, 英語)(H25~) ・中高相互授業参観 ・CRTテスト(中1~中3の4月), 基礎学力判定テスト(予備登校日)を高校で分析し, 中学校へフィードバック。
総合的な学習の時間		・IS(中1~高2文系), SR(中1~高2理系), CS(中1~高3)	・ソフィアプラン(中学校) ・ソフィアプラス(ソフィアプラン及びSSH指定校としての課題研究等の取組等)(高1, 高2)	—
特別活動(HR・生徒会活動・学校行事)		<ul style="list-style-type: none"> ・中高合同の学校行事(合唱コンクール, 芸術観賞会, 体育大会, 文化祭等) ・中高合同の生徒会活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高合同の学校行事(体育祭, 黎明祭(文化祭), 芸術観賞会) ・中高合同の生徒会活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の連携(文化祭における相互作品展示。合唱コンクールで審査員として教員が相互にいきかう。) ・生徒会交流(生徒会執行部, 図書委員)
部活動		<ul style="list-style-type: none"> ・中高合同の部活動 ・高校の部活動へ早期入部 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高合同の部活動 ・高校の部活動へ早期入部 	・部活動の交流
部活動以外の課外活動		・海外研修(中3(3月), 高2(11月))	<ul style="list-style-type: none"> ・海外語学研修(中3(3月)) ・サイエンス研修や生徒研究発表会への参加等のSSH指定校としての取組 	・南三陸クリーンアップ作戦(震災後中止)
地域と連携した取組		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の町内会・商工会の七夕づくりへの参加 ・文化祭における地元商店街の参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター講演会, 宮城未来創造計画, 黎明ボランティア, 黎明田畑, 職場体験等 ・部活動毎のボランティア ・部活動主催の大会開催, 地域の祭り・イベント等への参加 	
高校のクラス編製の状況(内進生80名, 外進生160名)		<ul style="list-style-type: none"> ・高1では, 内進生と外進生クラスに分け, 中学卒業時の学習内容の相違や進度差を補う。 ・高2, 高3クラスでは, 進路の希望に応じたクラス編制(混合)となる。 	・内進生と外進生は基本的に別クラスで3年間学習する。ただし, 選択科目の履修の際には内進生・外進生の区分けはしていない。	
外進生への対応状況(進度差)		・課外講習で授業の補充(内進生は復習・問題演習等)	<ul style="list-style-type: none"> ・内進生と外進生の教育課程を一部分けて作成 ・習熟度別授業 ・2WTや土曜塾(土曜日の活用)の実施 	
教員の連携状況		<ul style="list-style-type: none"> ・中高教科会 ・H24年度中高兼務教員51名(高校38名, 中学校13名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高合同教科会 ・H24年度中高兼務教員12名(高校9名, 中学校3名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高教員全体会 ・中高合同教科等研究会 ・連携校長会, 教頭会 ・中高一貫教育推進協議会等 ・専門部会(基礎学力向上部会, 生徒指導部会, 進路部会, 特別活動部会) ・教員研修会 ・H24年度中高兼務教員9名(高校6名, 中学校3名)
その他			・進路シラバス	<ul style="list-style-type: none"> ・夢実現ファイル(中高6年間を通した進路指導の実施) ・中高連携だより ・進路講演会
		・併設型中高一貫教育校教育課程共同研究事業		

※仙台二華
 IS(インターナショナルスタディー):国際的な視野で「地球環境」を俯瞰し, 人文・社会科学的な手法により, 「地球環境」について探求しながら, 情報活用と英語による表現力を育む。
 SR(サイエンティフィックリサーチ):自然科学的手法によって「地球環境」について探求しながら, 課題解決能力と論理的な思考力を育む。
 CS(キャリア・スタディ):「地球環境」の中にある自分という意識を持って将来の生き方や在り方, 職業について考えるとともに, 具体的な進路目標を設定し, その実現に向けた見通しを持って取り組む態度を養う。
 TM(シンキングメソッド):総合的な学習の時間及び国語科の学習活動と関連づけながら, 「地球環境」や言語についての知識を豊かにし, 論理的に思考したり他者と伝えあったりするのに必要な情報を活用する能力と表現する能力を身に付ける。

※古川黎明
 ソフィアプラン:進路学習, 黎明サポーター講演会, 黎明異文化交流, 黎明ボランティア, 黎明田畑等により課題解決能力の向上, 学び方, 物の見方, まとめや発表する力の養成
 L-タイム(言偏):読書指導, 新聞指導, 文書要約, スピーチ, 作文, ディベート等により読解力・表現力・コミュニケーション能力を育成

※併設型中高一貫教育校教育課程研究事業
 (1)中高一貫教育校ならではの, より効果的な教育課程の研究及び指導方法の工夫・改善のための, 職員による情報交換や研修会, 授業研究等の実施 (2)中高一貫教育校生としての自覚と誇りを醸成し, 意欲を喚起するための, 生徒交流活動等の実施

中高一貫教育に関する評価指標(案)

1. 当初の目的及び期待された成果の整理

(1) 当初の目的

施策の目的
○学校の選択幅の拡大を図る ○6年間のゆとりある学校生活の中で、子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす ○中高を通じて継続的・系統的な指導を行い、中学校と高校の教育の接続を円滑にする 出典：県立高校将来構想(平成13年3月)(抜粋)

(2) 期待された成果

成果(アウトカム)
○生徒一人ひとりの個性や能力が伸び、それぞれの個性や能力に応じた進路希望を達成できている

2. 評価指標(案)

検証の視点	検証のチェックポイント	検証データ		
		教育庁の取組	学校の取組	生徒の状況
・生徒の学校の選択幅は拡大しているか	・生徒の学校の選択幅は拡大しているか	○中高一貫教育校の設置状況	○児童・保護者に対する学校説明会の開催状況 ○小学校への周知状況	○学校説明会の参加者数 ○県立中学校の出願倍率 ○県立中学校の地区別生徒数・出願者数 ○県教委・学校からの情報提供に対する満足度 ○学校生活に対する生徒の満足度
	・地域の公立中学校にどのような影響があるか			○地域の公立中学校の学級数・生徒数の推移 ○県立中学校の地区別生徒数・出願者数(再)
・中高一貫教育校の特色を活かした教育が展開されているか	・適切な入学者選抜が行われているか	○県立中学校入学者選抜方針・要項の作成状況(併設型) ○県立高等学校入学者選抜方針・要項の作成状況(連携型)	○入学者選抜の実施状況	○県立中学校の地区別生徒数・出願者数(再) ○県立中学校の男女別生徒数 ○連携型入試の男女別出願者数・合格者数 ○授業がどれくらい理解できるか ○進路達成意欲の状況
	・生徒一人一人の個性に応じた教育が展開されているか	○学校の特色づくりへの支援状況 ○学習指導、進路指導に対する支援状況※ ○生徒指導に対する支援状況※ ○部活動等に対する支援状況※ ○教員の配置状況	○学校の特色づくりの状況 ○学習指導及び進路指導の状況 ○生徒指導の状況 ○部活動等の実施状況 ○中高教員の連携の状況 ○選択科目(中学校)・学校設定科目(高校)の設定状況	○学校の特色づくりに対する生徒の満足度 ○授業、進路指導に対する生徒の満足度 ○基本的な生活習慣の指導に対する生徒の満足度 ○部活動等の成績 ○進路の状況 ○進路希望達成率
	・基礎的な学力を身に付けることができるよう、計画的・継続的な教育指導が行われているか	○教育課程の研究支援状況 ○学習指導、進路指導に対する支援状況※(再) ○生徒指導に対する支援の状況※(再) ○県立中学校教科用図書採択状況 ○中高両方の免許を持つ教員の確保状況	○6年間の教育課程・シラバスの作成状況 ○教育課程の特例の活用状況 ○学習指導及び進路指導の状況(再) ○生徒指導の状況(再) ○学習意欲持続させる取組状況 ○中高教員の連携の状況(再) ○外進生への対応状況	○授業、進路指導に対する生徒の満足度(再) ○基本的な生活習慣の指導に対する生徒の満足度(再) ○授業がどれくらい理解できるか(再) ○学力テストの成績 ○進路希望達成率(再)
	・主体的に学ぶ力を育成するため、様々な体験学習や課題研究型の学習等に取り組んでいるか	○学校の特色づくりへの支援状況(再)	○学校の特色づくりの状況(再) ○体験学習等の取組状況	○平日の学習時間 ○どんな時に家庭学習をするか ○平日に家庭で最も時間をかけて行っていること
	・豊かな人間性や社会性を形成するため、異年齢集団による活動が行われているか	○特別活動等に対する支援状況※	○部活動、生徒会活動、学校行事等における中高の交流状況	○部活動、生徒会活動、学校行事に対する生徒の満足度
	・それぞれの個性や能力に応じた進路希望を達成できているか	○学習指導、進路指導に対する支援状況※(再)	○学習指導及び進路指導の状況(再)	○授業、進路指導に対する生徒の満足度(再) ○進路の状況(再) ○進路希望達成率(再)
	・学校適応上、課題は生じていないか	○教育相談体制の整備に対する支援状況※	○教育相談体制の状況 ○転学希望者への対応状況	○教育相談に対する生徒の満足度 ○中途退学率、不登校率、転学者数 ○中途退学、不登校及び転学の理由
	・上記の取組において生じた課題が適切に見出され、対応されているか	・PDCAサイクルによる学校経営を行うための制度・体制が整備されているか	○各学校の改善措置に対する支援状況	○学校運営及び教育活動の点検・改善を目的とした制度・実施体制
・学校の教育活動において、上記の制度・仕組みが有効に活用されているか		○各学校の改善措置に対する支援の状況(再)	○教育活動の点検・改善の実施状況	

※印については、必要に応じて連携型の中高一貫教育校が設置されている市町村教育委員会の取組も含める

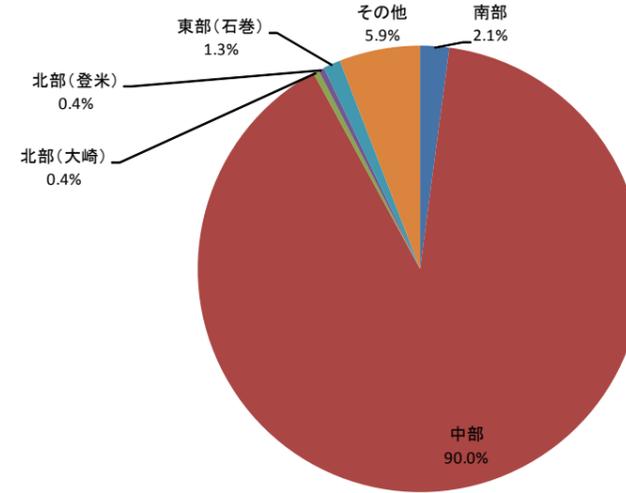
(別紙4) 中高一貫教育に関するデータ

■ 県立中学校の出身小学校市町村別生徒数(中学校1年次)

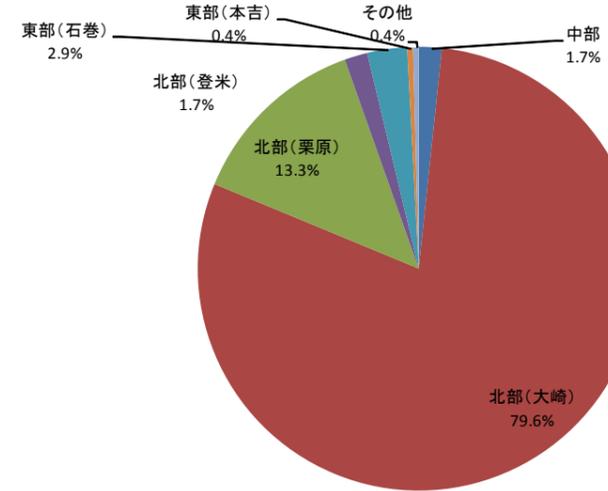
(1) 仙台二華中学校 ※網掛けはデータ分析で言及している値

地区	市町村	H22年度				H23年度				H24年度				H22～H24合計	
		生徒数(人)	構成比(%)	H21年度小6児童数(人)	県立中への進学率(%)	生徒数(人)	構成比(%)	H22年度小6児童数(人)	県立中への進学率(%)	生徒数(人)	構成比(%)	H23年度小6児童数(人)	県立中への進学率(%)	生徒数(人)	構成比(%)
南部	白石	0	0.0	317	0.0	0	0.0	303	0.0	1	1.3	314	0.3	1	0.4
	大河原町	1	1.3	235	0.4	1	1.3	251	0.4	1	1.3	204	0.5	3	1.3
	柴田町	0	0.0	335	0.0	1	1.3	379	0.3	0	0.0	353	0.0	1	0.4
	小計	1	1.3			2	2.5			2	2.5			5	2.1
中部	仙台市	55	69.6	9,312	0.6	61	76.3	9,376	0.7	59	73.8	9,162	0.6	175	73.2
	塩竈市	2	2.5	514	0.4	1	1.3	495	0.2	0	0.0	500	0.0	3	1.3
	名取市	4	5.1	753	0.5	4	5.0	760	0.5	4	5.0	810	0.5	12	5.0
	多賀城市	0	0.0	662	0.0	0	0.0	652	0.0	3	3.8	626	0.5	3	1.3
	岩沼市	3	3.8	464	0.6	1	1.3	402	0.2	0	0.0	461	0.0	4	1.7
	亶理町	1	1.3	347	0.3	0	0.0	370	0.0	1	1.3	325	0.3	2	0.8
	松島町	0	0.0	116	0.0	0	0.0	125	0.0	2	2.5	133	1.5	2	0.8
	七ヶ浜町	0	0.0	206	0.0	1	1.3	230	0.4	0	0.0	203	0.0	1	0.4
	利府町	0	0.0	393	0.0	2	2.5	379	0.5	1	1.3	368	0.3	3	1.3
	大和町	1	1.3	265	0.4	0	0.0	228	0.0	0	0.0	246	0.0	1	0.4
	富谷町	3	3.8	609	0.5	3	3.8	647	0.5	3	3.8	645	0.5	9	3.8
小計	69	87.3			73	91.3			73	91.3			215	90.0	
北部(大崎)	美里町	1	1.3	217	0.5	0	0.0	220	0.0	0	0.0	212	0.0	1	0.4
北部(登米)	登米市	1	1.3	773	0.1	0	0.0	773	0.0	0	0.0	774	0.0	1	0.4
東部(石巻)	石巻市	1	1.3	1,540	0.1	1	1.3	1,507	0.1	1	1.3	1,444	0.1	3	1.3
その他		6	7.6			4	5.0			4	5.0			14	5.9
合計		79				80				80				239	

■ 仙台二華 出身小学校の市町村別構成比(H22～H24年度3カ年計)



■ 古川黎明 出身小学校の市町村別構成比(H22～H24年度3カ年計)



(2) 古川黎明中学校 ※網掛けはデータ分析で言及している値

地区	市町村	H22年度				H23年度				H24年度				H22～H24合計	
		生徒数(人)	構成比(%)	H21年度小6児童数(人)	県立中への進学率(%)	生徒数(人)	構成比(%)	H22年度小6児童数(人)	県立中への進学率(%)	生徒数(人)	構成比(%)	H23年度小6児童数(人)	県立中への進学率(%)	生徒数(人)	構成比(%)
中部	七ヶ浜町	1	1.3	206	0.5	0	0.0	230	0.0	0	0.0	203	0.0	1	0.4
	大郷町	1	1.3	54	1.9	0	0.0	75	0.0	0	0.0	66	0.0	1	0.4
	富谷町	0	0.0	609	0.0	0	0.0	647	0.0	1	1.3	645	0.2	1	0.4
	大衡村	0	0.0	59	0.0	0	0.0	44	0.0	1	1.3	63	1.6	1	0.4
	小計	2	2.5			0	0.0			2	2.5			4	1.7
北部(大崎)	大崎市	42	52.5	1,237	3.4	57	71.3	1,267	4.5	49	61.3	1,234	4.0	148	61.7
	色麻町	7	8.8	64	10.9	1	1.3	90	1.1	5	6.3	52	9.6	13	5.4
	加美町	6	7.5	226	2.7	3	3.8	208	1.4	3	3.8	228	1.3	12	5.0
	涌谷町	3	3.8	151	2.0	1	1.3	145	0.7	3	3.8	149	2.0	7	2.9
	美里町	4	5.0	217	1.8	4	5.0	220	1.8	3	3.8	212	1.4	11	4.6
小計	62	77.5			66	82.5			63	78.8			191	79.6	
北部(栗原)	栗原市	12	15.0	666	1.8	9	11.3	620	1.5	11	13.8	642	1.7	32	13.3
北部(登米)	登米市	1	1.3	773	0.1	1	1.3	773	0.1	2	2.5	774	0.3	4	1.7
東部(石巻)	石巻市	2	2.5	1,540	0.1	2	2.5	1,507	0.1	1	1.3	1,444	0.1	5	2.1
	東松島市	0	0.0	415	0.0	0	0.0	436	0.0	1	1.3	438	0.2	1	0.4
	女川町	0	0.0	86	0.0	1	1.3	82	1.2	0	0.0	73	0.0	1	0.4
	小計	2	2.5			3	3.8			2	2.5			7	2.9
東部(本吉)	南三陸町	0	0.0	181	0.0	1	1.3	174	0.6	0	0.0	135	0.0	1	0.4
その他		1	1.3			0	0.0			0	0.0			1	0.4
合計		80				80				80				240	

■ 参考 地区別小学校6年生児童数(平成13年度～平成23年度)

地区	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	10年間の増減数(人)	10年間の増減率(%)
中部地区	14,479	14,116	14,158	13,945	13,621	14,082	13,561	13,724	13,626	13,917	13,726	▲ 753	▲ 5.2
仙台市	9,461	9,304	9,306	9,079	9,044	9,269	9,042	9,169	9,053	9,376	9,162	▲ 299	▲ 3.2
北部(大崎)地区	2,292	2,199	2,185	2,153	1,994	2,077	1,989	1,946	1,895	1,930	1,875	▲ 417	▲ 18.2
大崎市	1,428	1,417	1,420	1,415	1,311	1,361	1,301	1,274	1,237	1,267	1,234	▲ 194	▲ 13.6
北部(栗原)地区	854	773	795	743	653	673	633	676	666	620	642	▲ 212	▲ 24.8

(資料)宮城県教育庁調べ、学校基本調査(文部科学省)

■県立中学校の出願倍率の推移(倍)

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
仙台二華	-	-	-	-	-	14.96	10.03	7.65	6.34
古川黎明	5.60	3.86	3.69	3.14	3.16	3.43	2.85	3.10	2.60

(資料)宮城県教育庁調べ

■県立中学校の出願者男女比の推移(%) (女子生徒の割合)

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
仙台二華	-	-	-	-	-	59.4	59.6	56.9	54.5
古川黎明	66.3	75.1	71.2	66.9	64.0	66.1	70.2	63.3	60.4

(資料)宮城県教育庁調べ

■県立中学校の生徒男女比の推移(%) (中学校1年次女子生徒の割合)

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
中学校計	49.0	48.9	49.0	49.0	49.0	48.6	48.7	48.1
県立	75.0	87.5	71.3	72.5	66.3	58.5	69.4	62.5
仙台二華						46.8	56.3	56.3
古川黎明	75.0	87.5	71.3	72.5	66.3	70.0	82.5	68.8
市町村立	48.7	48.5	48.7	48.8	48.7	48.3	48.4	47.8
仙台市	47.7	48.9	48.9	48.7	49.2	48.7	47.7	47.8
北部(大崎)	49.2	47.8	48.6	50.3	46.4	44.9	49.6	46.7
私立	57.8	60.0	58.9	55.1	57.6	56.3	55.0	53.5
中等教育学校	52.5	45.1	48.8	52.1	42.9	55.1	57.0	66.5

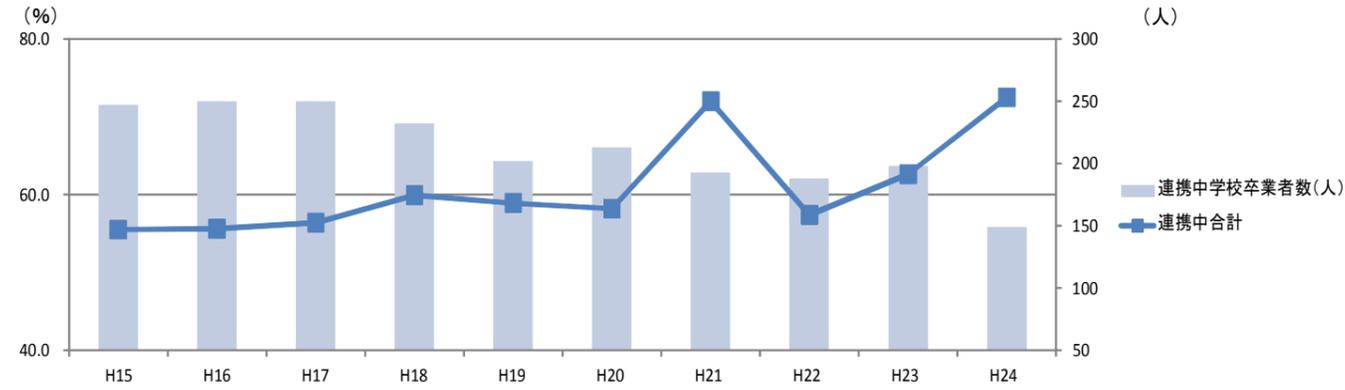
(資料)学校基本調査(文部科学省)

■連携中学校卒業生の志津川高校への進学率

単位：%

中学校	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
連携中合計	55.5	55.6	56.4	59.9	58.9	58.2	72.0	57.4	62.6	72.5
連携中学校卒業生数(人)	247	250	250	232	202	213	193	188	198	149

(備考)太線囲み部分は連携型入試を開始した年度



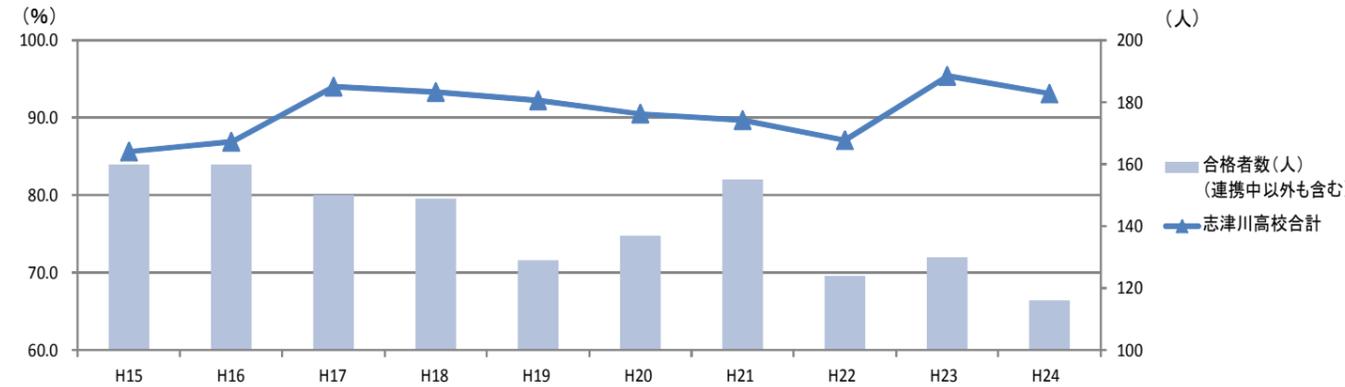
(資料)宮城県教育庁調べ

■志津川高校の連携中学校出身者割合(%)

単位：%

学 科	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
普通科	90.0	90.0	97.4	93.3	94.5	92.8	92.4	92.0	95.1	94.5
情報ビジネス科	72.5	77.5	82.9	93.1	86.8	80.8	80.6	66.7	96.3	88.0
志津川高校合計	85.6	86.9	94.0	93.3	92.2	90.5	89.7	87.1	95.4	93.1
合格者数(人) (連携中以外も含む)	160	160	150	149	129	137	155	124	130	116

(備考)太線囲み部分は連携型入試を開始した年度



(資料)宮城県教育庁調べ

8. 連携型入試出願倍率の推移(倍)

単位：倍

学科	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
普通科	1.51	1.33	0.88	0.98	1.04	0.85	0.93	0.84	0.74
情報ビジネス科	1.42	0.92	1.50	0.62	0.85	0.47	0.79	0.65	0.62

(資料)宮城県教育庁調べ

■連携型入試に係る男女比の推移

(1)出願者における女子生徒の割合(%)

学科	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
普通科	55.2	48.4	60.7	41.5	51.8	48.9	48.0	36.3	57.5
情報ビジネス科	29.4	36.4	61.1	57.1	44.8	37.5	40.7	31.8	57.1
合計	50.3	46.7	60.8	44.1	50.4	47.2	46.5	35.4	57.4

(2)合格者における女子生徒の割合(%)

学科	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
普通科	59.4	53.1	60.7	41.7	52.7	50.0	49.0	37.9	57.5
情報ビジネス科	25.0	38.1	66.7	57.1	46.4	42.9	42.3	28.6	57.1
合計	52.5	50.4	62.0	44.4	51.4	49.0	47.6	36.1	57.4

(資料)宮城県教育庁調べ

(参考)連携中学校男女比の推移(%) (中学校3年次女子生徒の割合)

中学校	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
連携中学校合計	49.0	46.8	54.4	47.4	50.0	46.5	42.4	40.3	48.0

(資料)学校基本調査(文部科学省)

中高一貫教育の検証に関する現地調査について

1 目的

中高一貫教育の検証にあたり、定量データでは把握しきれない部分について、現地調査等を通じて定性データを収集・分析し、成果の把握・課題の抽出へと繋げる。

2 調査対象校、実施時期及び調査員

中高一貫のタイプ	対象校	実施時期	調査員
併設型	仙台二華中学校・高等学校	平成25年5月13日（月）	齋藤委員，白幡委員， 舘田委員，事務局
	古川黎明中学校・高等学校	平成25年5月17日（金）	羽田委員，佐々木委員 事務局
連携型	志津川高等学校	平成25年5月20日（月）	柴山委員，太宰委員 事務局
	志津川中学校		
	戸倉中学校	平成25年5月16日（木）	事務局
	歌津中学校		

※ 仙台二華中学校・高等学校及び古川黎明中学校・高等学校については、「男女共学化」及び「全県一学区化」に関するヒアリング調査も併せて実施。

3 調査方法

(1) 仙台二華中学校・高等学校，古川黎明中学校・高等学校

- ① 校長，中学校教員及び高校教員等からヒアリング調査
- ② 生徒（中学生及び高校生）との懇談
- ③ 学校見学による現場の状況把握

(2) 志津川高等学校

- ① 校長及び教員等からのヒアリング調査
- ② 生徒との懇談
- ③ 学校見学による現場の状況把握

(3) 南三陸町立中学校

- ① 校長及び教員等からのヒアリング調査
- ② 生徒との懇談

※ 現地調査に当たっては、事前にアンケートに御記入いただき、基礎資料とした。

4 調査項目

併設型中学校	併設型高校	連携型中学校	連携型高校
① 学校選択の状況	① 指導の状況	① 学校選択の状況	① 指導の状況
② 指導の状況	② 内進生と外進生の 交流状況	② 指導の状況	② 学習習慣の定着や 基礎的な学力の状 況
③ 中高生徒間交流 の状況	③ 中高生徒間交流 の状況	③ 学習習慣の定着や 基礎的な学力の状 況	③ 中高生徒間交流 の状況
④ 地域との関わり	④ その他	④ 中高生徒間交流 の状況	④ 地域との関わり
⑤ その他		⑤ 地域との関わり	⑤ その他
		⑥ その他	⑥ 点検・改善活動の 実施状況